

日交研シリーズ A-714

平成 29 年度自主研究プロジェクト

旅行時間信頼性の経済評価方法に関する研究

刊行：2018 年 4 月

## ツアーレベルでの貨物車の都市内移動パターンの分析

### Tour-level Analysis of Urban Freight Trucks' Movement

主査：福田 大輔（東京工業大学准教授）

Daisuke FUKUDA

#### < 要 旨 >

道路整備や料金施策による交通流の円滑化は、平均旅行時間によって測られる速達性の向上のみならず、定時性の向上すなわち旅行時間信頼性の向上にも大きく貢献する。その経済便益を適切に計測し、事業評価への導入可能の検討も徐々に行われつつある。しかしながら、道路や公共交通の旅行時間信頼性の改善に伴って交通サービスの利用者の行動がどのように変化するのかについての理論的・実証的知見の蓄積は十分ではない。

本研究では、申請者らの従来 of 時間信頼性に関する研究をさらに展開し、エリアレベル（面的）での旅行時間信頼性の向上施策に関して、交通工学と交通経済学を融合した観点からの理論的・実証的検討を行うことを目的とする。本年度は、特に以下の細目について集中的に取り組んだ。本報告書は、うち、(1)の内容について特にまとめたものである。

(1) 貨物車の都市内移動パターンのツアーレベル分析

(2) Macroscopic Fundamental Diagram の交通政策への活用のためのエリア分割方法の検討

キーワード：旅行時間信頼性、貨物車、交通行動分析

Keywords：Travel time reliability, Freight trucks, Travel behavior analysis